



◎産・学・官連携の取り組み



安曇野市役所 環境課
主査 高野 貴史

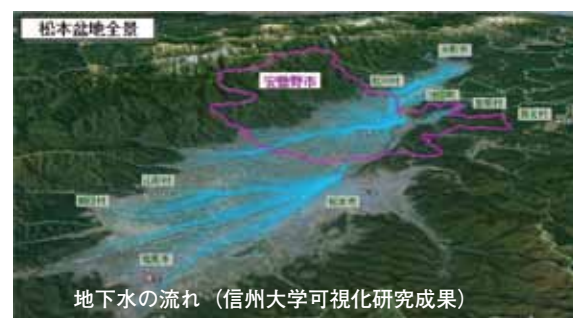
地域ぐるみの取り組み

市は地下水を守るため、まず現状を知ることから始めました。地下水量は目に見えず、その年の天候や降水量などにも大きく左右されるからです。そこでより正確な情報を得るため、信州大学と連携して実態調査・研究を行い、地下水の可視化に取り組みました。

平成18年には、行政と有識者に加え、地域の利害関係者等で構成される「水資源対策協議会」を設立。平成25年には市で初めての地下水保全条例となる「安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例」を制定しました。

水資源の計画策定に、地域参加型の組織が関わる形態は、当時全国的にも先進的な取り組みでした。

信州大学との調査で得られた科学的知見に基づき、今まで見えなかった松本盆地全体の地下水の流れを「見える化」しました。



ブランド価値となった安曇野の水

このような取り組みが進んでいく中で、安曇野の水は全国的な知名度を誇り、県内外から高い評価を受けるようになりました。平成28年に環境省主催で行われた名水百選選抜総選挙では、安曇野わさび田湧水群が「観光地として素晴らしい名水」と「景観の素晴らしい名水」2部門で全国1位を獲得しました。

また、同省主催の官民連携ウォータープロジェクトに参加。民間企業と協働して地下水保全活動を推進しています。

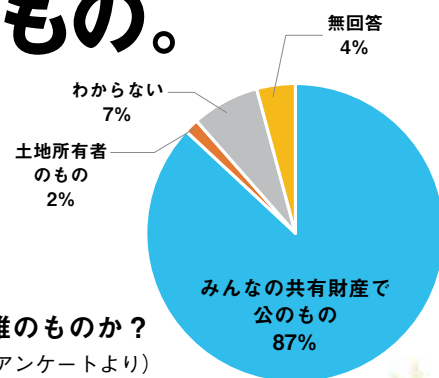
環境省主催の官民連携ウォータープロジェクトへ参加。TOTO (株)と(株)バスクリンと協働でチラシを作成し、地下水保全のため啓発活動を行っています。



【市の主な取り組み】

- H18 「安曇野市水資源対策協議会」設立
- H25 「安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例」制定
- H27 「名水サミット in 安曇野」開催
- H28 環境省名水百選選抜総選挙「景観部門」、「観光地部門」全国第1位
- H29 「安曇野市水環境基本計画・行動計画」策定
- H30 「流域水循環計画」認定〈国の水循環基本計画を受けて新たに策定された計画として全国初認定〉

水は、次世代からの預かりもの。



Q. 地下水は誰のものか？
(平成23年市民アンケートより)

地下水への高い市民意識

こうした取り組みが実現した背景には市民の意識が大きく関係しています。平成23年7月に行った市民アンケートでは8割以上の人が「地下水はみんなの共有財産だ」と回答しています。また、地下水保全に誰が取り組むべきかという質問に5割以上の人が「全員で取り組むべき」と回答しています。

市民一人ひとりの水に対する意識の高さが、市の水資源行政推進の大きな助力となっています。

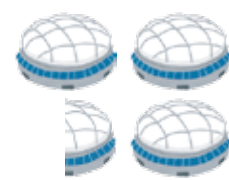


安曇野の水が減ってる？

～今、私たちにできること～

地下水量が減少

しかし、その地下水量は昔と比べて減少しています。平成27年に実施した松本盆地の一斉測水調査では、昭和61年からの29年間で、約1億2千万トンの地下水量が減少。これは毎年約416万トンずつ減っている



水は安曇野の恵み

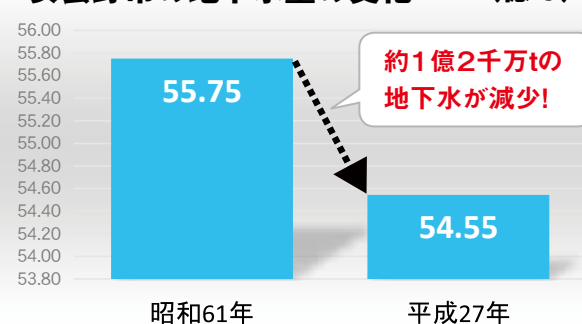
安曇野は全国でも有数の湧水地として、古くから地下水の恩恵を受けてきました。

その豊富な水資源は、稲作・わさび栽培などの農業を中心に、養殖・製造業にも利用されています。現在は市内の水道水の100%が地下水でまかなわれており、私たちの生活に欠かせない資源となっています。

本

年8月、市は「水資源功績者表彰」として国土交通大臣から表彰を受けました。この表彰は水資源の開発や保全に顕著な貢献をしている個人や団体に贈られるもので、本年度は自治体で唯一の受賞となります。

安曇野市の地下水量の変化 (億 t)



減少の原因は？

では、地下水量が減少した主な原因は、何なのでしょう。1つは田んぼが減り、コンクリートやアスファルトの道路が増えたことで、水が地面に浸み込みにくくなっていること。もう1つは、私たちが使う水の量が昔より増えていることです。

今月号では地下水量の減少を防ぐための取り組みを紹介します。

計算になり、その量は東京ドーム約3・4個分をいっぱい満たす量になります。